



OE-08	OE-08	OE-09
-3	-4	-3
OE-18	OE-18	OE-19
-1	-2	-1
OE-18	OE-18	OE-19
-3	-4	-3



【注】
 1. 本図は、国土交通省国土院の「国土利用計画」に基づき作成されたものであり、実際の地形や地質と異なる場合があります。
 2. 本図は、国土院の「国土利用計画」に基づき作成されたものであり、実際の地形や地質と異なる場合があります。
 3. 本図は、国土院の「国土利用計画」に基づき作成されたものであり、実際の地形や地質と異なる場合があります。

【資料】
 1. 国土院「国土利用計画」
 2. 国土院「国土利用計画」
 3. 国土院「国土利用計画」

【備考】
 1. 本図は、国土院の「国土利用計画」に基づき作成されたものであり、実際の地形や地質と異なる場合があります。
 2. 本図は、国土院の「国土利用計画」に基づき作成されたものであり、実際の地形や地質と異なる場合があります。
 3. 本図は、国土院の「国土利用計画」に基づき作成されたものであり、実際の地形や地質と異なる場合があります。

【図例】

項目	データ項目	年度
下水道台帳	管線・マンホール位置情報	平成23年度
	管線・マンホール属性情報	平成23年度
水道データ	水道メータ設置場所情報	平成23年度
	水道空用度情報	平成23年度
基本地形図	地形図データ	平成23年度
	下水流量(ポンプ場・処理場)	平成23年度
下水データ	下水流量(ポンプ場・処理場)	平成23年度

下流域ポテンシャル (MJ/E)

0 ~ 3000	住宅給湯負荷相当の世帯数目安
3500 ~ 17000	0 ~ 100
17000 ~ 35000	100 ~ 500
35000 ~ 170000	500 ~ 1000
170000 ~	1000 ~ 5000

作成年度: 2011年
 作成者: 国土院 国土利用計画課

1:2,500
 0 25 50 100 150 200 250m

【注釈】

- この下水熱ポテンシャルマップは、「下水熱ポテンシャルマップ(広域ポテンシャルマップ)作成の手引き」(2015年3月環境省総合環境政策局・国土交通省水管理・国土保全局下水道部)に基づき、下水道施設における下水流量測定値を基に、下水温度差5℃としてポテンシャルを推計している。
- 推計に用いたデータは、別表の通りであり、その後の変化は、反映されていない。
- 代表日のポテンシャルを推計しているため、降雨や融雪等の影響は考慮していない。
- 下水道施設における下水流量測定値を基に推計したポテンシャルであるため、大規模温浴施設等の近傍等では誤差が大きく生じている可能性がある。
- この下水熱ポテンシャルマップは、中部処理区及び東部処理区を対象に作成している。整備対象外の隣接処理区からの汚水流入量は、各処理区内で按分しているため、幹線管渠から離れる場所ほど、誤差が大きく生じている可能性がある。



項目	データ項目	年度
下水道台帳	管路・マンホール図形情報	平成28年度
	管路・マンホール接続情報	平成28年度
水道データ	水道メータ設置場所情報	平成28年度
	水道使用量情報	平成28年度
基本地形図	地形図データ	平成28年度
下水データ	下水流量(ポンプ場・処理場)	平成28年度
	下水温度(ポンプ場・処理場)	平成28年度

下水熱ポテンシャル (MJ/日)

- 0 ~ 3,500
- 3,500 ~ 17,000
- 17,000 ~ 35,000
- 35,000 ~ 170,000
- 170,000 ~

※28年度版のポテンシャル
 ※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。
 ※数値は有効数字2桁に丸めている。

住宅給湯負荷相当の世帯数目安

- 0 ~ 100
- 100 ~ 500
- 500 ~ 1,000
- 1,000 ~ 5,000
- 5,000 ~

住宅1世帯、1日当たりの給湯負荷相当熱量
 34.5[MJ/日・世帯]
 (住宅1世帯の延べ床面積を100㎡と想定)